

氏名 高木 久代		
研究分野		所属学会等の名称
英語教育	日本独自の薬膳研究・開発	JACET（日本英語教育学界）、医学英語学会 日本薬膳学会
担当授業科目名 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ		
教育上の能力に関する事項		
事項	年	概要
1 教育の実践例、教育に関する評価等 医療と英語を関連付けた教育	2003～現在	理学療法学科、医療福祉学科、鍼灸学科と各分野に関連付けた英語教育を実践している。各分野とリンクした英語教材を使用することにより学生の英語学習への興味を高め、英語の基本4技能（読む、書く、聞く、話す）を獲得させ、将来英語を道具として使用できることを目的とした英語授業を実践している。各分野に関連付けた英語のみならず、毎回の授業では、時事英語の聞き取り、理解、英語雑誌からの記事の理解など、時代に即した英語語彙、英語表現学習も行っている。
2 作成した教科書、教材 『English for TCM』 『実践メデイカル英語』 『東洋医学で英語を学ぶ』	2004. 3 2009. 4 2013. 3	鍼灸分野の中医基礎理論と英語学習を関連付けた英語教材 鍼灸とリンクさせた英語教材は今日皆無であるため、鍼灸分野に焦点を当てた英語教材を作成した。この教材は鍼灸を専攻する学生にとって鍼灸と英語を同時に学習できる唯一の英語教材である。 チーム医療を支える専門職を目指す学生が人体について学習できる医療英語専門書であり、解剖の基礎から、各医療分野に関する英語会話、医療表現を自己学習出来るように、基礎英語文法説明、英語語彙説明を組み入れている。本書の内容は解剖を含めすべてオリジナル英文である。解剖や医療分野説明は医師と英語専門者がコラボレートし作成している。 東洋医学分野全般を網羅した英語教材。東洋医学の内容を分かりやすい英語で紹介し、医療英語語彙の説明、英語文章読解に不可欠な英語文法の説明と練習問題を加えた、東洋医学と英語学習を組み合わせた日本で始めての本格的な英語の教科書である。東洋医学専攻学生だけではなく東洋医学に興味がある全ての人が使用できる英語の本である。
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等 高校の英語教員、高等専門学校講師、大学英語講師を経験し大学英語教員を務めている	1975～現在	昭和 50 年からの高等学校での教諭としての英語教育に始まりおよそ 30 年間以上にわたり英語教育を実践している。10 年間以上、英語専門塾を運営してきた。英語教材”Progress in English”を指導する数少ない英語教育専門塾であり、学生の指導、教員の指導にあたり、毎年多くの学生を進学させてきた実績がある。平成 15 年以来医療大学で医療に関連付けた ESP 理論に基づく英語教育を実践し、今までの教育経験をふまえ学生の生活、教育における全般的な指導をしている。

職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 資格, 免許 高等学校教諭免許 高等学校教諭専修免許 調理師免許 華道草月流師範一級免許 薬膳指導員 医療薬膳師	1975. 3 2003. 3 1985. 7 1987. 4 2008. 4 2014. 7	高校教諭、高等専門学校教諭 高校教諭、高等専門学校教諭 鍼灸学科での薬膳実習 大学内華道部の指導。 薬膳指導 薬膳教育		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等 30年以上にわたる英語教育の実践 鈴鹿市「国民防災対策委員会」委員 国際ソロプチミスト三重委員 三重県選挙管理委員 津中日文化センター講師 「日本薬膳学会」代表理事 鈴鹿市防災対策委員 学校法人・高田学園評議委員 草月会三重支部理事 世界薬膳食療研究専門委員会副会長	1975. 4～現在 2006～現在 2008～2012 2013. 5～現在 2013. 10～現在 2013. 11～現在 2014. 4～現在 2014. 4～現在 2014. 7～現在 2014. 7～現在	昭和 50 年よりおよそ 30 年以上にわたり高等学校、高等専門学校、専門学校、大学で英語教育にかかわっている。大学では医療系学生対象とした医療に焦点をおいた英語教育をしているが、学生の教育、生活指導を長年経験しているため、学生の生活、教育の全般的相談も行っている。 鈴鹿市の「国民の防災」に関する会議に参加討論 国際ボランティアクラブ奉仕活動 三重県選挙管理委員会の委員として選挙の指導・管理を行う活動 津中日文化センターで「楽しい薬膳・入門編」の講師として薬膳についての講演 日本における東西医学を融合した日本独自の薬膳研究、普及、さらに「医療薬膳師」の教育・育成 「鈴鹿市防災」に関する会議参加討論 学校法人・高田学園の中学、高等学校の評議委員として会議に参加討論 華道「草月」流の指導・普及 世界の薬膳教育の普及、及び研究		
研究業績等に関する事項				
著書名, 報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) 『実践メデイカル英語』	共著	2009. 4	株式会社 オーム社	小澤淑子、 <u>高木久代</u> 、藤原奈佳子 198 ページ
『東洋医学で英語を学ぶ』	共著	2013. 3	医師薬出版株式会社	<u>高木久代</u> 、木村研一、西村甲、高木健 87 ページ
(報告書等)				
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表学会名・発表年・開催都市名
(学術論文) 「English for TCM」 (東洋医学専攻学生のための英語) 「ESP for the students majoring acupuncture in Japan」		高木久代 高木久代		平成 16 年 大学院修士論文 平成 20 年 6 th International Symposium on TCM And 6 th International Symposium on Acupuncture and Moxibustion, Tianjin-China Collection of Papers

<p>「医療系大学における英語教育」</p> <p>「栄養成分表示への関心と食生活及び健康への関連について」</p> <p>「男子大学生における食生活の現状と課題ー自宅生と下宿生での検討ー」</p> <p>「The analysis of English sentences in Acupuncture field」</p> <p>「糖尿病、メタボ、肥満対策のための低カロリー食材のレオロジーとその加工食物の血糖値に及ぼす影響」</p> <p>「通常の餡餅と低カロリーの血糖値に及ぼす影響」</p> <p>「日本薬膳学会による薬膳教育の現状」</p>	<p>高木久代</p> <p>酒井香江、石原領子、<u>高木久代</u></p> <p>石原領子、酒井香江、<u>高木久代</u></p> <p>高木久代</p> <p>水越友里子、永野敬資、熊取厚志、<u>高木久代</u></p> <p>水越友里子、熊取厚志、<u>高木久代</u>、棚橋鉦二</p> <p>高木久代</p>	<p>P327-329</p> <p>平成 20 年 鈴鹿医療科学大学 紀要 2008 年（第 15 号） p 41-51</p> <p>平成 21 年 鈴鹿医療科学大学 紀要 2009 年（第 16 号）</p> <p>平成 21 年 鈴鹿医療科学大学 紀要 2009 年（第 16 号）</p> <p>平成 22 年 9th International conference on TCM and 13th International conference on Acupuncture and Maxibustion. Tianjin-China Collections of paper</p> <p>第 22 回生物試料分析科学 年次学術学会</p> <p>第 52 回臨床科学会年次学 術集会</p> <p>平成 26 年 第 5 回世界薬膳食療研究専 業委員会学術大会</p>
<p>(学会発表)</p> <p>「医療系大学における英語教育」</p> <p>「鍼灸学部における英語教育」.</p> <p>「専門とリンクさせた英語教育の実践」</p> <p>「The Education for Medical Diet in Japan」</p> <p>「Japanese circumstance for Medicinal Dietetics」</p>	<p>高木久代</p> <p>高木久代</p> <p>高木久代</p> <p>高木久代</p> <p>高木久代</p>	<p>平成 17 年「日本英語教育学 会」中部大会</p> <p>「外国語教育メディア学 会」中部大会</p> <p>平成 18 年「日本英語教育学 会」中部大会</p> <p>平成 25 年 第 4 回世界薬膳食療研究専 業委員会学術大会</p> <p>平成 26 年 第 5 回世界薬膳食療研究専 業委員会学術大会</p>